

日本中東学会ニューズレター
JAMES
NEWSLETTER
No. 103
4/25 2005

目 次

2004 年度第 3 回 2005 年度第 1 回合同理事会報告.....	1
日本中東学会年報(AJAMES)への投稿について.....	4
学会事務局の交替について.....	5
新事務局より.....	6

2004 年度第 3 回 2005 年度第 1 回合同理事会報告

2005 年 4 月 10 日に、第 10 期・第 11 期の引継ぎのために合同理事会を開催し、以下のことが討議・決定されました。

日時 2005 年 4 月 10 日(日) 16:00~20:00

場所 東京大学文学部アネックス 2 階会議室

出席 (第 10 期) 大塚和夫

(第 10・11 期) 飯塚正人、臼杵陽、小杉泰、小松久男、酒井啓子、
長沢栄治、林佳世子、三浦徹

(第 11 期) 加藤博の各理事

オブザーバーとして第 10 期事務局より帯谷知可正会員

欠席 羽田正、湯川武の各理事(第 10 期)

議題

1．第 11 期会長、事務局の選出

・事務局より 2004 年度末に実施された 2005 / 2006 年度役員選挙の結果が報告された後、会則第 8 条(1)に基づき、新理事による互選の結果、三浦徹理事を会長に選出した。また、05-06 年度の事務局は東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所にお願いし、飯塚正人理事が事務局長を務めることとした。

2．理事の任務分掌

・第 11 期理事の任務分掌を以下のように決定した。なお、必要に応じて特任の理事や委員を委嘱する。

会長：三浦徹

事務局長：飯塚正人

AJAMES 編集委員会：長沢栄治、林佳世子

国際交流：臼杵陽、酒井啓子

渉外：小松久男

企画：加藤博、小杉泰

3．2004 年度第 2 回理事会以降の報告

・事務局からニューズレター102号の刊行、2004年度の決算と会計監査および会員動向について報告があった。2004年度は会員各位の協力により年会費収入が大幅に増加したものの、海外への発信を強化すべく AJAMES の欧文特集を 2 つ組んだため、AJAMES 関連経費が予算を大きく上回った。

・AJAMES 編集委員会より、AJAMES 第 20-1 号、20-2 号の編集過程が報告された。また、2006 年度以降 AJAMES の刊行時期を変更すること、これにともなう移行措置として本年度第二号(第 21-2 号) 来年度第一号(第 22-1 号)の締切をそれぞれ 7 月 20 日、12 月 20 日に変更することが承認された。

・AJAMES を電子ジャーナル化して国立情報学研究所電子図書館に掲載する際の提供条件および著作権処理について協議した。電子ジャーナル化によって、国内国外のどこからでも AJAMES が閲覧・印刷できるようになり、その利用・普及が図れることから、会員および非会員の双方に有益であることが確認され、国立情報学研究所との契約条件を詰めて本年度総会に諮ることとした。なお、AJAMES 著作権者に対する電子ジャーナル化調査は、国内在住者に関するかぎり 8 割程度の回答を得ている。

・国際交流担当より、WOCMES アンマン大会(2006 年) 英文ニューズレター(101 号) 刊行および海外長期会費未納会員問題について報告があった。海外長期未納会員については、2004 年 4 月に会員継続か退会かの意志表示を求め、会員

継続の意志表明のなかった会員 6 名について、退会を承認した。

- ・中東文献データベース担当より、日本オリエント学会会員、日本イスラム協会会員にも照会調査を行った結果、2004 年度末の掲載件数は 7000 件に達したことが報告された。これに加えて、外国語著作 700 件（外国語要旨を含む）のデータベースを 4 月 1 日に公開した（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/james/index-e.html>）。

- ・企画担当より、本年度も秋に予定されている公開講演会「日本と中東の間」の科研費（研究成果公開促進費）が採択されたことが報告された。

- ・渉外担当より、日本学術会議の再編にともない、中東学会に対して要請のあった新学術会議会員候補の情報提供を行ったことが報告された。また、日本学術会議東洋学研連より報告依頼のあったシンポジウム「アジア人間科学への道 東洋学とアジア研究」（2005 年 9 月 24 日）の報告者として小松久男理事を選出した。

4 . 第 10 期活動の総括と第 11 期への引き継ぎ事項

- ・第 9 期から持ち越されてきた課題として、理事の増員や国際交流委員会の正式設置などに関わる会則変更がある。第 11 期にはこの課題処理のため、小杉理事が本件を担当する。

- ・役員選挙の方法も、同じく第 9 期からの検討課題であり、電子メールによる投票などの可能性を今後も検討していく。

- ・寄贈図書が歴代事務局設置場所に分散しているので、保管場所を考えたい。

- ・日本学会事務センターの破産によって宙に浮いた形になっている AJAMES バックナンバーの保管および販売については、当面事務局が引き受ける。

- ・AJAMES 関係の科研費（出版助成）申請については外国語率向上のための方策を含め、編集委員会で検討していく。また、国際交流と連携して、外国人編集委員の追加を考える。

- ・2006 年 AFMA 大会、WOCMES 大会については、日本が開催国となる AFMA 大会（第 22 回年次大会と同時開催を予定）とともに、WOCMES アンマン大会（6 月）についても国際交流を中心にパネルの組織などを会員に呼びかけ、交流を図る。

- ・中東文献データベース 1989-2003 については、科研費補助金による事業を終了するが、2005 年度以降も手持ちのデータや新規業績の掲載を継続するため、保守・管理費を確保する。なお、5 年後をメドに再度科研費を申請し、2004-2008 年版を作成することが提案された。

- ・2005 年秋に発足する新学術会議については、新学術会議における「地域研究」のプレゼンスを高めるために組織された「地域研究学会連絡協議会」を通して、必要に応じ「地域研究」推進のための適切な措置をとっていく。同連絡協議会に対しては、幹部学会の一つとして引き続き積極的に関与する。

日本中東学会年報 (AJAMES) への投稿について

1. 第 20-2 号の刊行について

昨年度第二号の『日本中東学会年報』(AJAMES) 第 20-2 号が 3 月末に刊行されました。執筆者各位、ならびにお世話になった方々に改めて御礼申し上げます。近々お手元に郵送されてくると思います。2004 年度会費納入者に送ることになっていますが、しばらくしても届かない場合には事務局にご連絡ください。

2. 第 21-1 号の投稿締切

本年度第一号の第 21-1 号 (2005 年 9 月刊行予定) の投稿は締め切らせていただきました。

3. 第 21-2 号の投稿締切期日の変更について (7 月 20 日に)

本年度第二号の第 21-2 号の投稿締切期日は、昨年度より早め、7 月 20 日にさせていただきます。来年度から年二回の刊行時期を従来の 9 月と 3 月ではなく、6 月と 12 月に変更することになったためです。変更の理由は、従来の期日では入稿と校正、刊行の時期が夏季の休みや年度末の時期に重なり、編集作業上に支障が生ずることがあるからです。

この締切期日の変更に關係して今年度は移行期間として、第 21-2 号 (2006 年 1 月刊行予定) の締切を 7 月 20 日、次に来年度の第 22-1 号 (2006 年 6 月刊行予定) の投稿締切を今年の 12 月 20 日とすることになりました (来年度以降の投稿締切は 6 月と 12 月になります)。7 月 20 日というと締切まであと 3 ヶ月弱で、投稿を予定されている方には若干厳しい日程になったかもしれませんが、12 月に次の締切がありますので、お許しいただければと思います。

また、投稿規程の一部を次の編集委員会 (5 月) で改訂する可能性もありますので、投稿をお考えの方は編集委員会にご連絡ください。変更があった場合には速やかにお知らせすることができます。

4. 外国語での投稿を歓迎します

本誌には発刊以来、英語のみならずアラビア語など多様な言語で成果を海外に発信していくという理念があり、2001 年度からは科学研究費出版助成を得てその方針を強化しています。最近の投稿原稿を見ますと日本語のものが大半を占める状況が続いていますが、ぜひ外国語での投稿をお願いしたいと思います。また本誌は 2005 年度中にウェブ上での電子ジャーナル化をする計画であり、外国語での執筆は広くすばやく海外の研究者に日本の研究の成果を知っていただく良い機会になりますのでぜひご一考ください。論文以外でも、たとえば書評や研究情報の紹介などの記事も歓迎いたします。

5．特集の企画募集

本誌では各号に外国語での小特集を組むという企画をこの2年進めてきました。会員の皆様に企画の案がございましたらぜひ編集委員会にご連絡ください。

以上の点、またそれ以外の点でも疑問や提案などがございましたら、編集委員会、あるいは編集委員までご一報ください。

(AJAMES 編集委員会 長沢栄治)

学会事務局の交替について

2005年度から、学会事務局は東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所に交替し、飯塚正人理事が事務局長として、これを担当いたします。新事務局の連絡先は、次のとおりです。ただし、5月14・15日に開催される本年度の学会大会・総会までは、国立民族学博物館地域研究企画交流センターの旧事務局が会務にあたりますので、ご注意ください。新事務局は5月20日頃から会務にあたる予定です。なお、AJAMES 編集委員会の連絡先は変わりません。

新事務局連絡先

〒183-8534 府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所気付

日本中東学会事務局

電話・ファックス 042-330-5665

電子メール <james@aa.tufs.ac.jp>

新事務局より

このたび、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所が日本中東学会事務局をお引き受けすることになりました。AA研としては永田雄三事務局長以来2度目、東京外大としては奴田原睦明事務局長を経て3度目の事務局となります。とはいえ、永田会員・奴田原会員ともすでに本学を去られており、所内・学内に事務局運営に明るい会員もおりません。加えて、永田事務局長時代から見ると、AA研内の学会員数も半減しており、かつてのようなマンパワーは望むべくもないのが実情です。理事会内部での役割分担が進んだ結果、以前より事務局の仕事も減ってきてはいるようですが、至らない点が多々出てくるのではないかと危惧しております。会員の皆さまのご協力を切にお願い申し上げる次第です。

なお、本ニュースレターには第21回年次大会のプログラムが同封されておりますので、ご確認ください。千里万博公園でたくさんの学会員の皆さまにお目にかかることを楽しみにしております。

(飯塚 正人)

日本中東学会ニュースレター 第103号

発行日 2005年4月25日
発行所 日本中東学会事務局
印刷所 東洋出版印刷

日本中東学会事務局

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
国立民族学博物館
地域研究企画交流センター 気付
TEL & FAX 06-6878-8367
Eメール: james@idc.minpaku.ac.jp
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/james/index.html>
郵便振替口座: 00140-0-161096
銀行口座: 三井住友銀行 渋谷支店
普通 No. 5346808

